

聖心女子大学
2025 年度自己点検・評価活動報告書

I 今年度の自己点検・評価活動の状況

1. 次のとおり全学評価委員会を開催した。

- 第 1 回：4 月 11 日
- 第 2 回：9 月 12 日
- 第 3 回：10 月 31 日
- 第 4 回：1 月 30 日
- 第 5 回：2 月 25 日

次のとおり事務専門部会を開催した。

- 11 月 12 日
- 2 月 26 日

2. 第 1 回全学評価委員会で決定した別紙「2025 年度聖心女子大学における自己点検・評価の基本方針」に従い、以下の活動を行った。

1) 内部質保証

中期目標・中期計画に基づく事業計画の進捗確認及び評価を行った。これは、2025 年度事業計画に基づく研究所、センター、事務部署の自己点検・評価及びアセスメント・プランに基づく各学科の自己点検・評価（ 3）に後述）を全学評価委員会において取りまとめたものである。

<中期目標・中期計画に基づく事業計画の進捗状況>

2025 年 2 月：全学評価委員会にて、2025 年度～2029 年度中期目標・中期計画に基づく
2025 年度事業計画の策定

7 月：将来構想・評価委員会にて、アセスメント・プランに基づく 3 つの方針
の検証

10 月：全学評価委員会にて、2025 年度事業計画の行動計画及び達成指標に基づ
く中間評価の実施及び 2026 年度事業計画

11 月：2026 年度事業計画全学評価委員会（案）の学長への提言及び学長指示書
の指示。

2026 年 1 月：全学評価委員会にて、2025 年度事業計画の行動計画及び達成指標に基づ
く期末評価の実施、期末評価結果に基づく、2026 年度事業計画達成指標
の適正化

2026 年 2 月：全学評価委員会にて、2025 年度点検・評価書の取りまとめ

2) 基礎要件評価の継続実施

2025年6月～8月「大学基礎データ」（第4期認証評価様式）に基づく、点検・評価方針の見直し

3) 「アセスメント・プラン」に基づく3つの方針の検証

学部レベルでは、入試委員会・教務委員会にて「アセスメント・プラン」に基づく3つの方針の検証を行い、全学レベルでは、将来構想・評価委員会の検証を行った。また、初めて「アセスメント・プラン」に基づく点検・評価を実施したことにより、さらに「アセスメント・プラン」の改訂が必要であると判断し、実施時期や詳細な点検内容を明記した「アセスメント・プラン」（改訂版）を9月に確定した。このことにより「学位プログラム」レベルでの自己点検・評価の指標がさらに確立した。

4) 学生の学修成果を把握する客観的基準の検討

卒業時のディプロマ・ポリシーの達成度を検証するために、将来構想・評価委員会において、各学科の卒業論文の評価指標に基づき2025年度卒業論文の評価結果の提出を依頼した。同様に修了時のディプロマ・ポリシーの達成度を検証するため、大学院将来構想・評価委員会において、修士論文及び博士論文の評価指標に基づき2025年度修士論文及び博士論文の評価結果の提出を依頼している。学部・大学院共に継続して調査を行い、経年変化を確認していき、学科及び各専攻の卒業生（修了生）のディプロマ・ポリシーの達成度を確認できるようにしていきたい。

5) 聖心女子大学外部評価委員会での点検に向けた運用

「聖心女子大学外部評価委員会規程」に基づき開催する外部評価委員会については、2026年度の開催を予定していることから、外部評価委員の選定を行い、4名の委員について内諾を得た。

6) FD 活動について

FD研修会を次の通り実施した。

2025年6月3日：GPS-Academicの実施結果報告会（1年及び4年次生）

8月1日：現代の大学新生が抱えやすい課題－初等中等教育と高等教育のギャップから考える－

8月1日：各種調査企画の報告会

9月24日：研究倫理に関する研修会

II 上記活動に係る資料

1. 2025年度点検・評価書（詳細は学内限り）

以上